

高松市立多肥小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

自ら考え 心豊かに とともに生きる子どもの育成

めざす子ども像 自分をみがく子 人とかかわる子 未来を拓く子

【本校の課題】

- 全学年、男女ともに新体力テストの結果がほぼすべての種目で全国平均を下回っている。
- 運動能力、運動習慣、運動に対する意欲に格差がある。

【現状】

休み時間に外遊びをする子どもは多いが、全く外遊びをしない子どももいる。また、子どもの数に対して運動するスペースや遊具が不足しているため、限られた運動や遊びしかできない。

体育の授業においても、教師の指導力に差があり、校内研修に努めなければならない。

特に運動場が狭くなり、運動する時間と空間の工夫が急務である。

【取組み】

多肥リンピックの実施

水泳、基礎体力、なわとび、マラソンなど時期によって、子どもが取り組む運動課題を設定し、休み時間や体育の授業の導入時に実施している。

基礎体力については、新体力テストの結果を個々に印刷し、取り組むべき課題を選択できるようにしている。



委員会の児童が考えた種目も取り入れている。

クラスマッチの開催

運動会、水泳、球技、なわとびで年4回、3年生以上で行っている。運動能力の向上とクラスの団結力の高まりを図っている。



朝のスポーツタイム

2月～3月の始業前の時間に運動場にスペースを設け、走の運動、投の運動の練習ができるようにする。体育館ではなわとびの練習をする場を作る。(自由参加)

教員が付いて指導・管理するとともに、ゲームや競争の要素を入れて楽しく学べる場になるよう工夫する。

【目標】

- 全学年、男女ともに全国平均を上回る種目を半分以上にする。(昨年度 40%未満)
- 今年度 80%以上の児童が、運動に対して「好き」とか「得意」というように肯定的な意識を持てるようにする。
- 今年度 80%以上の児童が、週に3日以上、1日30分以上の運動をする習慣が身に付くようにする。